



個人投資家向けオンライン会社説明会資料

大和インベスター・リレーションズ株式会社主催

CONTENTS

1	自己紹介・会社概要	-----	3ページ
2	グループの事業内容	-----	8ページ
3	今後の成長イメージ	-----	22ページ
4	連結業績の状況	-----	29ページ
5	株主還元・配当金額	-----	33ページ
6	株価の状況	-----	35ページ
7	参考資料	-----	38ページ

CONTENTS 1

自己紹介・会社概要



■プロフィール

1973年東京都生まれ

1996年慶応義塾大学 経済学部卒

1996年日本アジア投資(VC)入社

2000年ネット企業創業 取締役就任

2003年クロス・マーケティング 創業

2008年東証マザーズ上場

2018年東証一部上場

■外部要職

レアジョブ(東証一部)社外取締役

日本マーケティングリサーチ協会 副会長

社名

株式会社クロス・マーケティンググループ

代表者

五十嵐 幹

創業

2003年4月1日

クロス・マーケティンググループを設立し、
持株会社体制への移行は2013年6月3日

資本金

6億4,671万円

従業員数
(連結)

1,266名（内、臨時従業員184名）

事業内容

デジタルマーケティング事業・
データマーケティング事業・インサイト事業

Mission

**Discover
Something
New.**

未来を
つくる。

私たちの願いはお客様の成功。課題の抽出も解決策の企画も、実行案の提示も。

全てはお客様の夢の実現のため。思い描く未来に近づけるため。

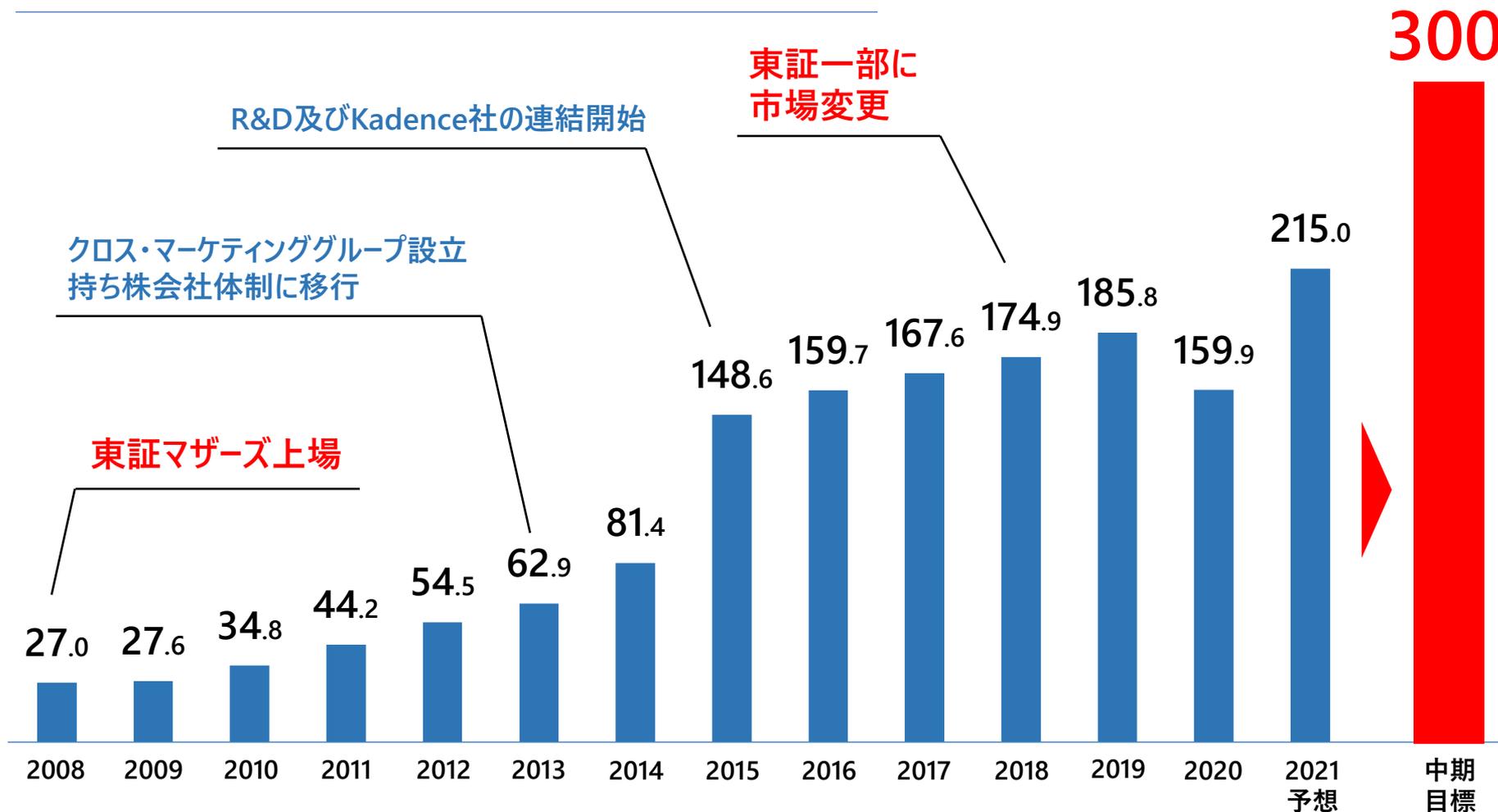
そのプロセスに、ワクワクする。そのゴールに、ココロときめく。

道を拓き、明日を導き、未来をつくる。

それがクロス・マーケティンググループのミッションです。

売上高 **300** 億円に向け成長を継続

(単位：億円)



グループの事業内容

 Cross Marketing Group

**デジタル
マーケティング事業**

デジタルプロモーション、EC・マーケティング支援、システム開発・保守・運用、人材サービス等を提供

 Cross Communication

 Cross Propworks  Fittio

 Data and Marketing

 DO HOUSE

売上規模 **90億円**

データマーケティング事業

オンラインを中心としたデータ収集により、顧客のマーケティング活動の意思決定を支援

 MARKELYTICS

 Cross Marketing

 Medical World Panel

 Kadence International

 withwork

売上規模 **64億円**

インサイト事業

課題解決に向けたコンサル、消費者のインサイト発掘等により、顧客の意思決定を支援

 medilead

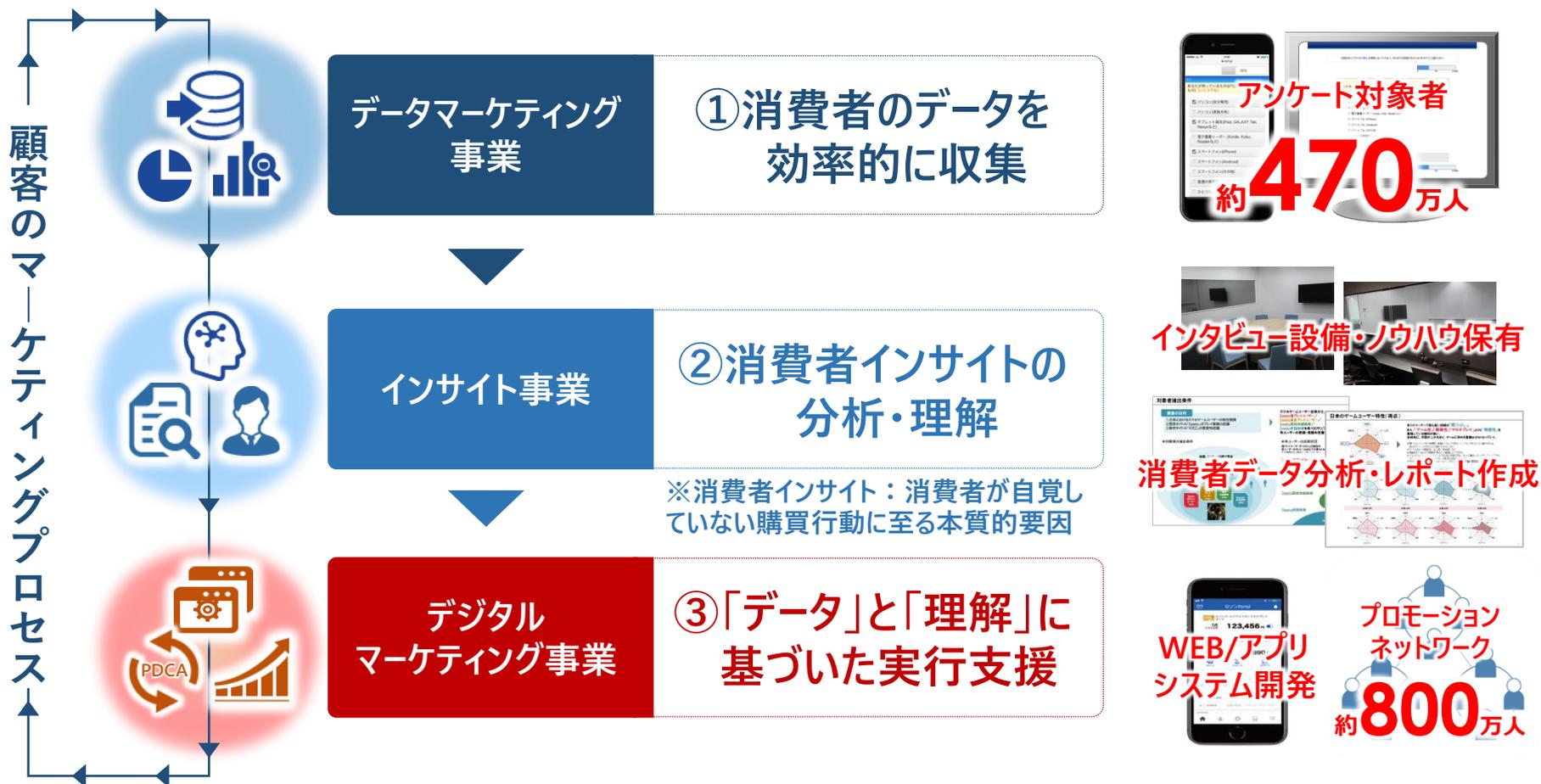
 Shopper's Eye

 ENVIROSELL JAPAN

売上規模 **61億円**

※各事業の売り上げ規模は2021年1～12月の業績予想の金額を記載しております。

顧客のマーケティングプロセスにおいて、消費者データ収集から分析・理解に加え、施策の実行プロセスをワンストップで提供



リサーチ(消費者の理解)とマーケティング実行支援を組み合わせることで、顧客企業の事業推進・成長に直結する付加価値の提供を実現

リサーチ機能

×

マーケティング
実行支援

データマーケティング

インサイト

デジタルマーケティング



データと理解に基づいた

総合マーケティングソリューション

デジタルマーケティング事業



～「データ」と「理解」に基づいたマーケティング施策の実行支援～

デジタルマーケティング事業

「データ」と「理解」に基づいた実行支援

システム・アプリ開発・運用・保守、
IT人材支援／アウトソーシングを提供かんたん積立・アプリ
株式会社SBI証券様JAFデジタル会員証
一般社団法人日本自動車連盟様「キティ★サンリオ壁紙」
株式会社サンリオ様セゾンPortal・UC Portal
株式会社クレディセゾン様ソニー銀行アプリ
ソニー銀行株式会社様スターフライヤー公式アプリ
株式会社スターフライヤー様

デジタルマーケティング事業

「データ」と「理解」に基づいた実行支援



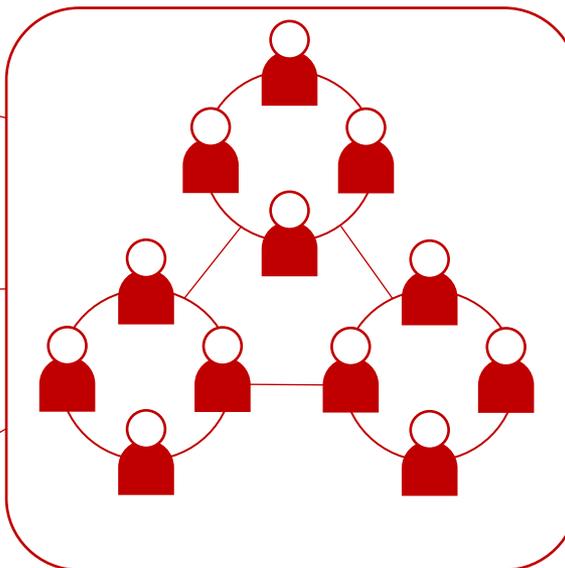
大規模なデジタルプロモーション

最大**800万人**にリーチ


TREASURE DATA

 Adobe

 ceres



 リサーチパネル

@nifty 

SAISON
CARD

提携・連携により大規模なパネルネットワークを構築

データマーケティング事業



～大規模な消費者ネットワークによりデータを効率的に収集～

データマ
ーケティング事業データを
効率的に収集日本最大級のパネルネットワークにより
効率的なデータ収集リサーチ対象
アクティブパネル数約**470**万人

※2020年10月現在

大規模パネルネットワーク

約**224**万人

+

提携パネル

約**246**万人

リサーチパネル

ログイン

ホーム リサーチパネルについて アンケートについて ポイントについて ECナビについて よくあるご質問

アンケートに答えるだけで
暇な時間が**お金に換わる**

利用者 **170万人**
以上
※2021年3月時点

無料 モニター登録する

簡単に稼げる！リサーチパネルのアンケート

簡単なアンケートにお答えいただくだけで、ポイントが貯まります。貯めたポイントは、現金やギフト券、電子マネーに交換できます。

- 簡単なアンケートに答える
- 簡単にポイントゲット
- ポイントを現金、ギフト券、電子マネーに交換

インサイト事業



～リサーチのノウハウにより消費者の「なぜ？(インサイト)」の理解～

インサイト事業

消費者の
「なぜ？」の理解



ノウハウを保有するグループ企業と
世界11ヶ国の拠点を軸にサービスを展開

ネットリサーチをコアサービスに**世界11カ国、20拠点以上**で
総合的なマーケティングリサーチサービスを提供

San Francisco

Boston

London

Dubai

New Delhi

Mumbai
Bangalore

Hanoi

Bangkok
Ho Chi Minh City

Singapore

Jakarta

Hakodate

Osaka

Fukuoka

Tokyo
Nagoya

インサイト事業

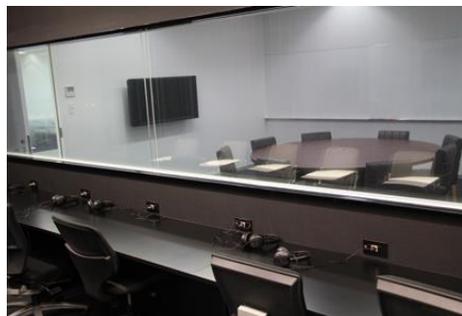
消費者の
「なぜ？」の理解



日本・海外にインタビュー・調査可能な
設備を保有し、多数の案件実施実績



国内設備（新宿初台、人形町）



海外フィールドワーク拠点（インド）



調理可能なCLTルーム（人形町）

グループインタビュー年間実績

約**1,300**グループ

CLT年間実績

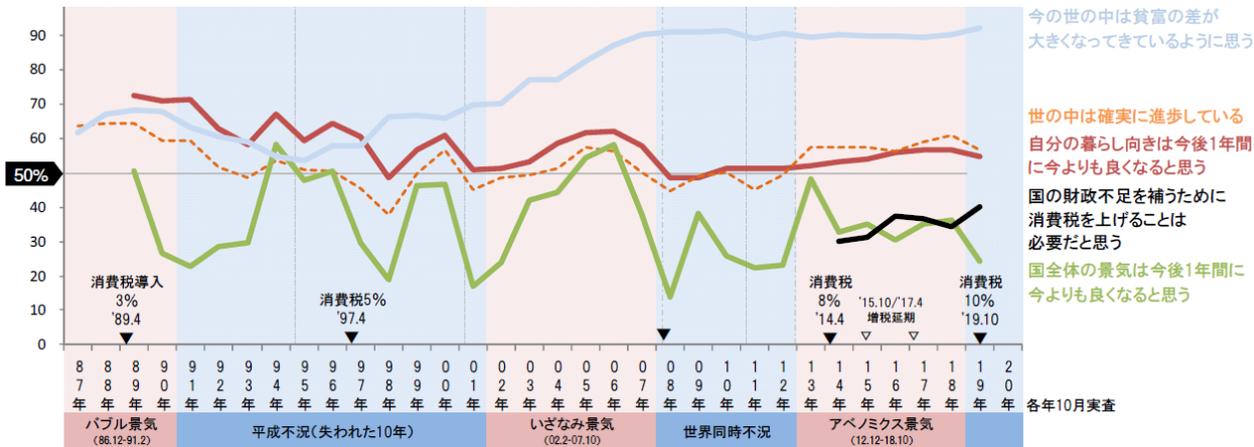
約**360**本

インサイト事業

消費者の「なぜ？」の理解



長期の消費者の価値観の動向を蓄積することで、「今の変化」への理解を深めることが可能に



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
世の中と自分	アベノミクスで景気上向き	アベノミクスにも陰り	不景気感薄れ社会も自分も上向きの期待	国に不安要素 漠然と将来に不安	暮らし向きも景気も上向きなのに 明るい未来が描けない	便利になった暮らしの先に 災害・経済・社会不安の暗雲	下り坂の未来像に不安が募る
	普通の暮らしは 堅実に	節約疲れて「今」にお金を使いたい	今先のバランスを考え 地に足のついた生活を	今を楽しみつつ 将来の備えは自分でしっかりと	今の延長線ではない 未来像に直面	変わらざるを得ないけど 平穏でいたい	「適応力格差」が浮き彫りに
生活意識	安定・安全な生活を	平穏な生活を	備えて安心な生活を	備えないと不安	備え方がわからない	万全な備えは無い 変化に対応しなければ	自己防衛としての “わたしファースト”
消費意識	節約しつつも メリハリあり	買い物欲は 増加傾向	調べて 比べて 納得消費	フィーリング & 合理的志向	自分軸での 価値とタイミング	持つことよりも 使えること	消費プロセス 全てに コスパを意識

今後の成長イメージ

「**消費者インサイト**」の理解を軸に、マーケティングの実行支援まで
データ・インサイトに基づいた**マーケティングDXソリューション**の提供を推進



合計**10兆円**を超える市場規模、 高い成長性のある市場でビジネスを推進

デジタルマーケティング 関連市場

国内インターネット広告市場は約**2.1兆円**（前年比**20%**成長）
国内D2C市場規模は約**2兆円**（2025年に約**3兆円**の予測）

出典：電通、日経広告研究所、売れるネット広告

リサーチ市場 (データマーケティング)

リサーチによるデータ収集を中心とする
世界のリサーチ市場規模約**5.1兆円**（2019年）

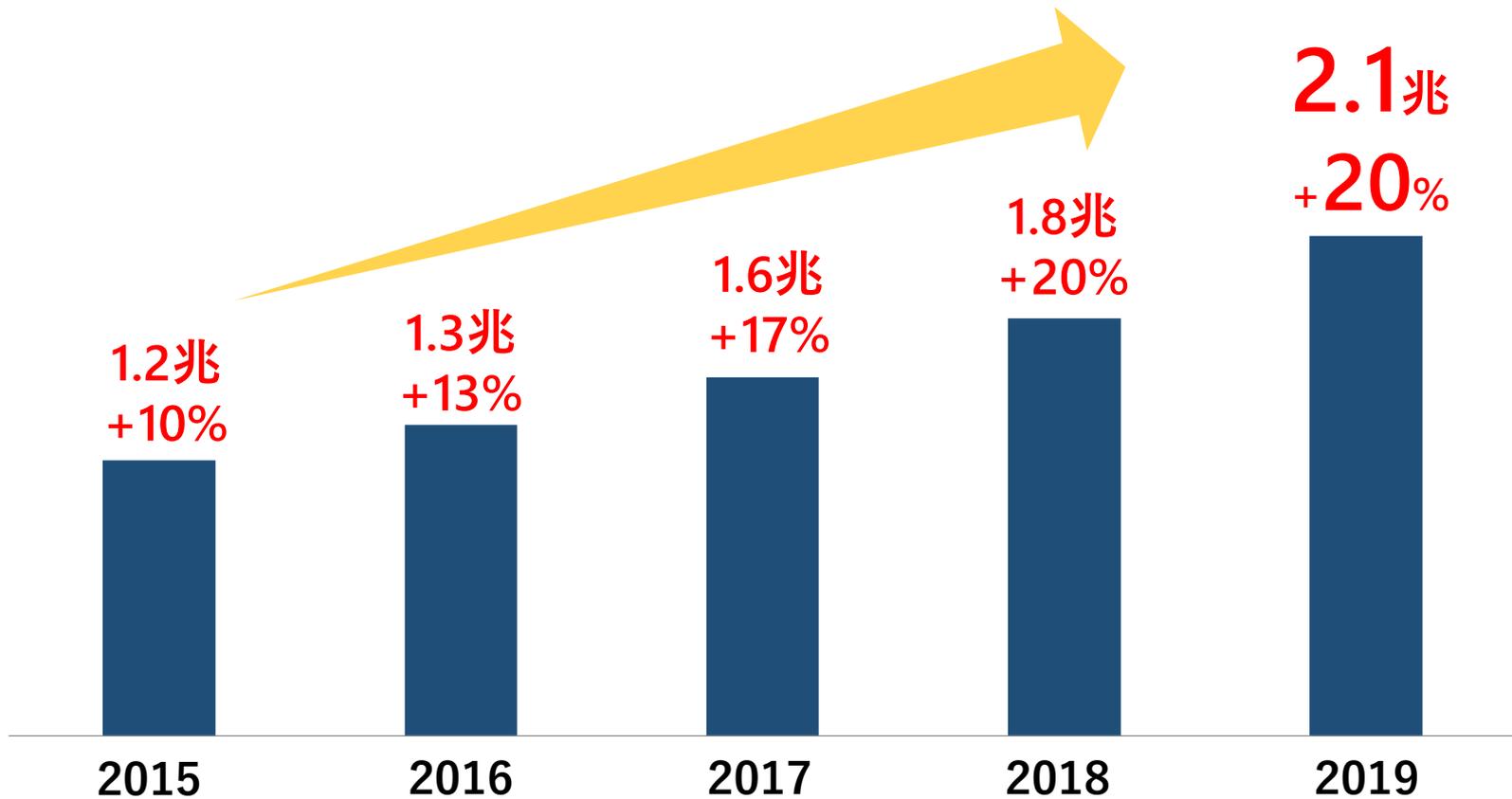
出典：ESOMAR

リサーチ市場 (インサイト)

データ分析、レポート作成等、世界のインサイト産業の市場規模
約**4.8兆円**（2019年）

※分析・レポート作成等を含み、意思決定を支援する総合サービス産業としての市場規模を掲載（ESOMAR定義）

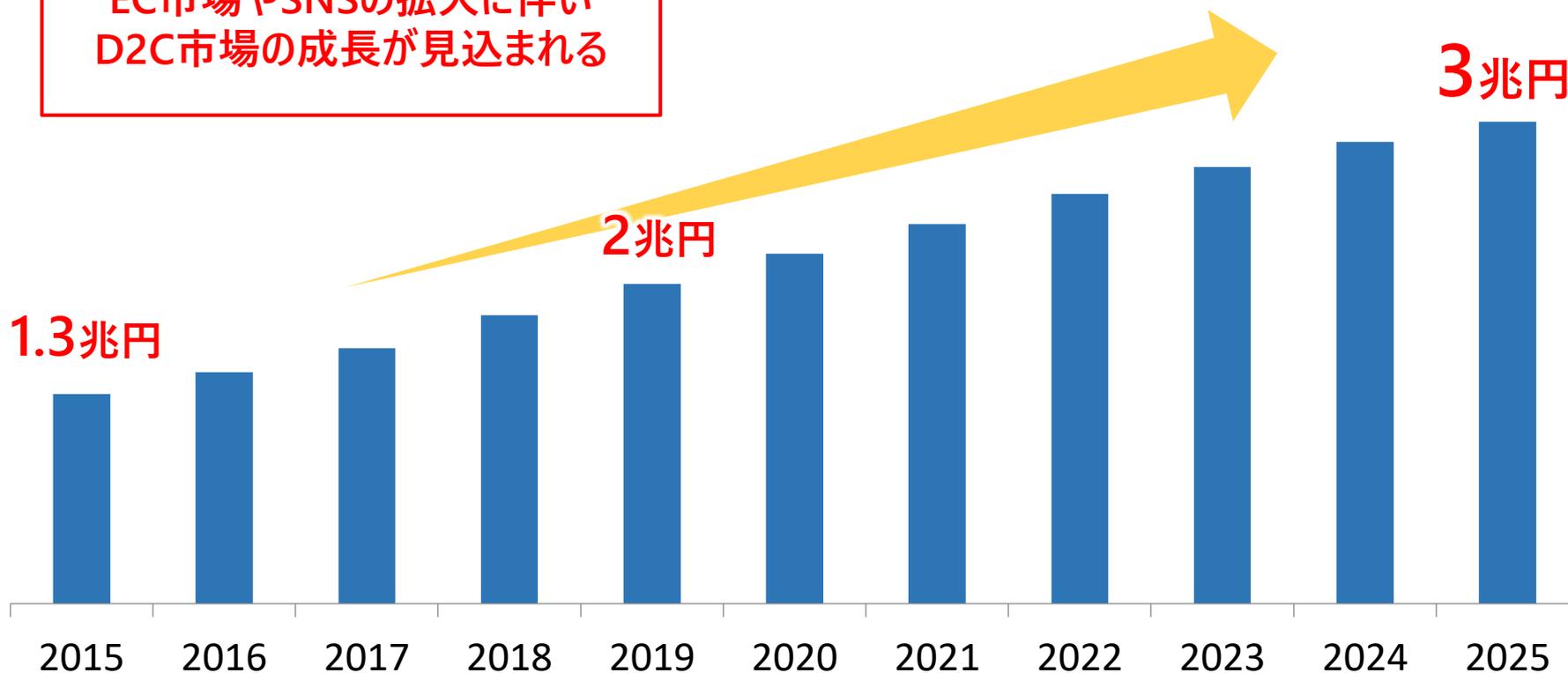
日本のインターネット（デジタル）広告市場は 高い成長率を維持し、**2兆円**を突破



出典：電通、日経広告研究所

D2C市場は2025年には3兆円に達する予測

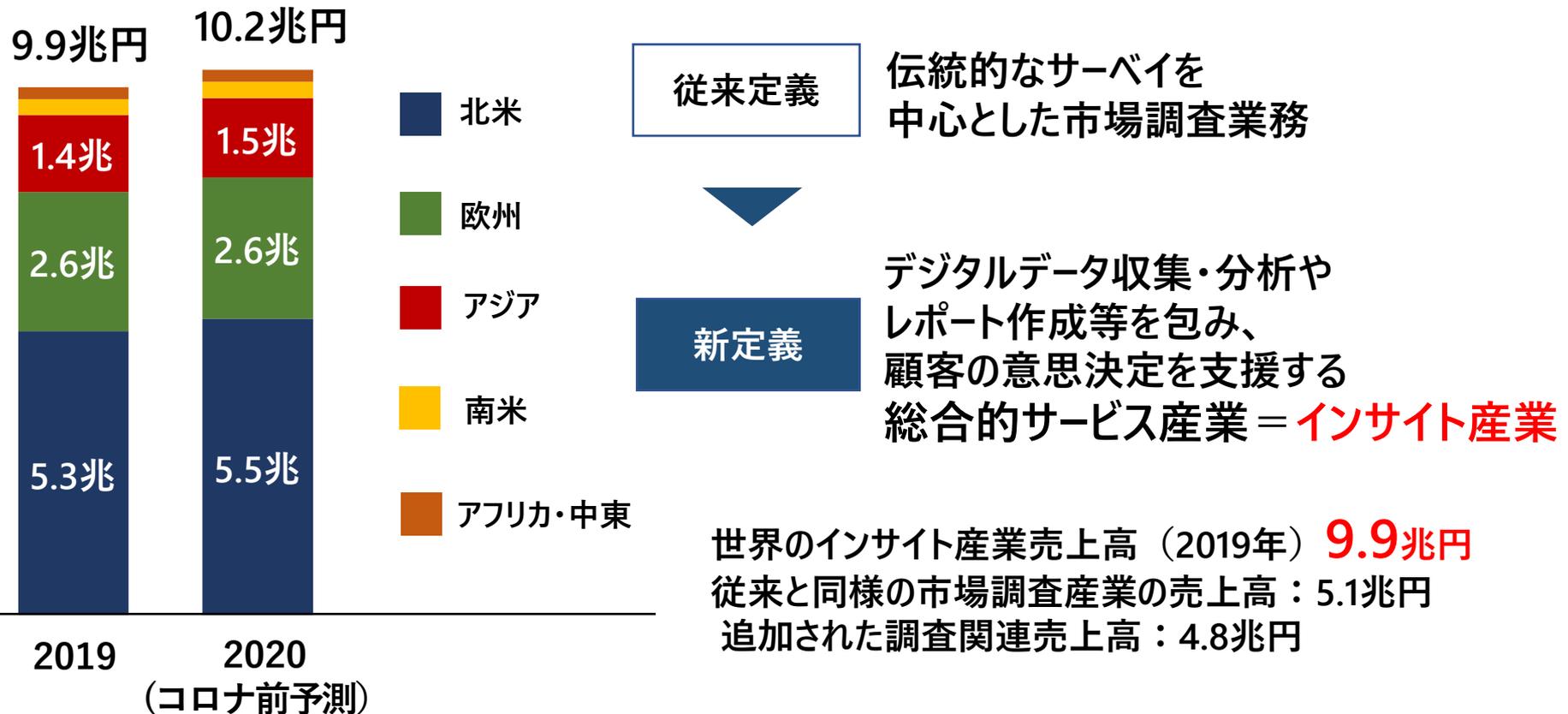
EC市場やSNSの拡大に伴い
D2C市場の成長が見込まれる



出典：売れる広告ネット

ESOMARによるリサーチ市場の定義変更

世界のインサイト産業の市場規模10兆円に拡大



合計**10兆円**を超える成長市場への継続的な施策・投資により、継続的な成長を目指す



Marketing
Solution
×
Digital
Transformation

- ✓ 成長する**デジタルマーケティング領域**への継続的なアプローチ
- ✓ リサーチ・データ・インサイトをベースとした**DX領域**での一定のプレゼンスを発揮
- ✓ 合計**10兆円**を超える市場に対する継続的な投資・施策の実行により企業価値の拡大を目指す

連結業績の状況

創業以来、継続して売上高が拡大

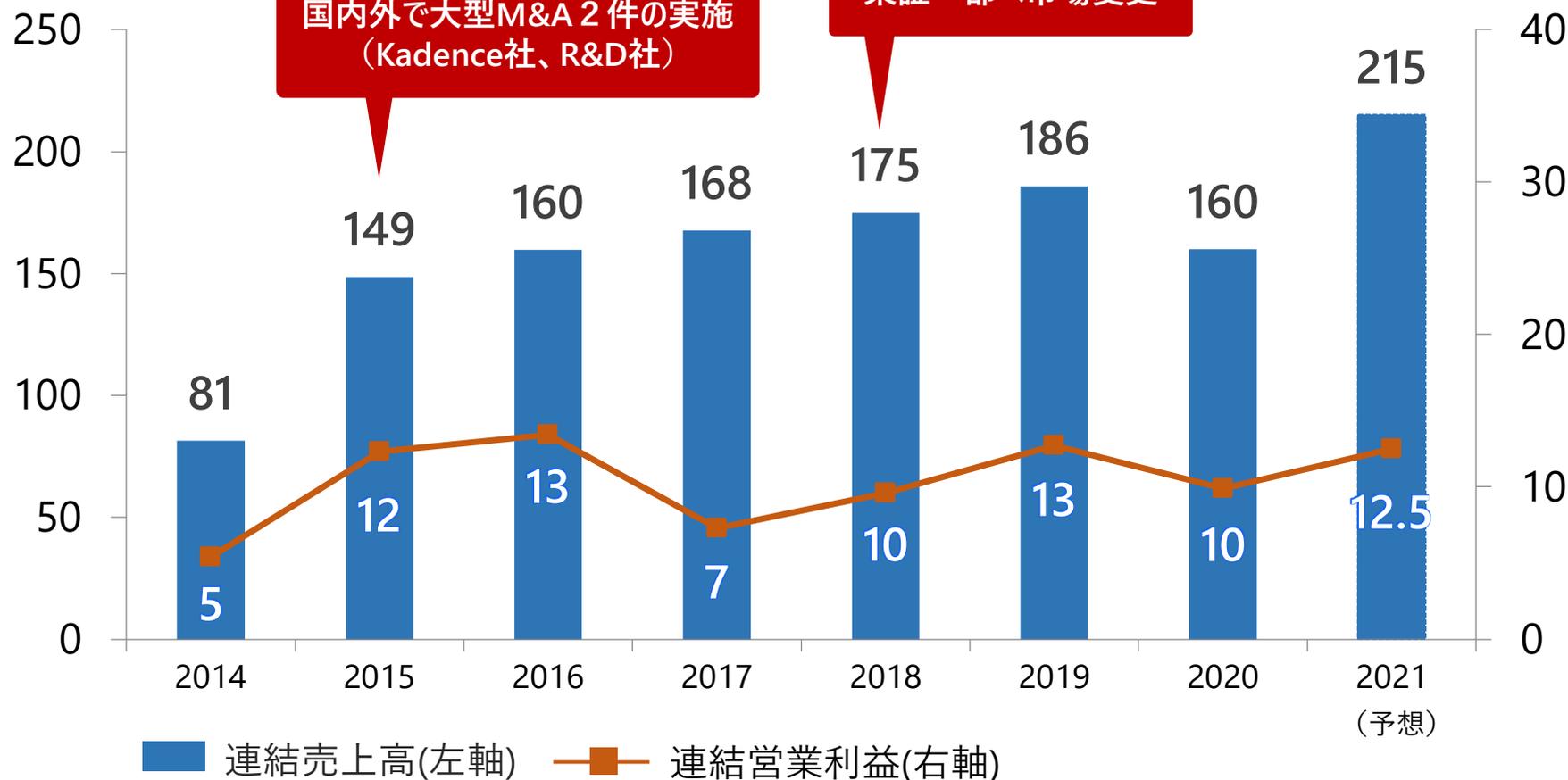
創業以来、営業赤字計上無し

直近の業績(21年1Q)が過去最高売上・利益

既存事業の継続的な成長とM&Aによる拡大により、 創業以来売上・利益ともに安定して成長を続ける

(単位：億円)

(単位：億円)



デジタルマーケティング事業を中心に好調に推移し、
第1四半期(1～3月)として過去最高売上・利益を計上

(単位：億円)

	FY20.1Q 実績	FY21.1Q 実績	
		金額	前年比
売上高	46.2	55.0	119.1%
営業利益	4.3	8.5	198.6%
経常利益	4.1	9.1	221.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2.5	4.9	197.6%

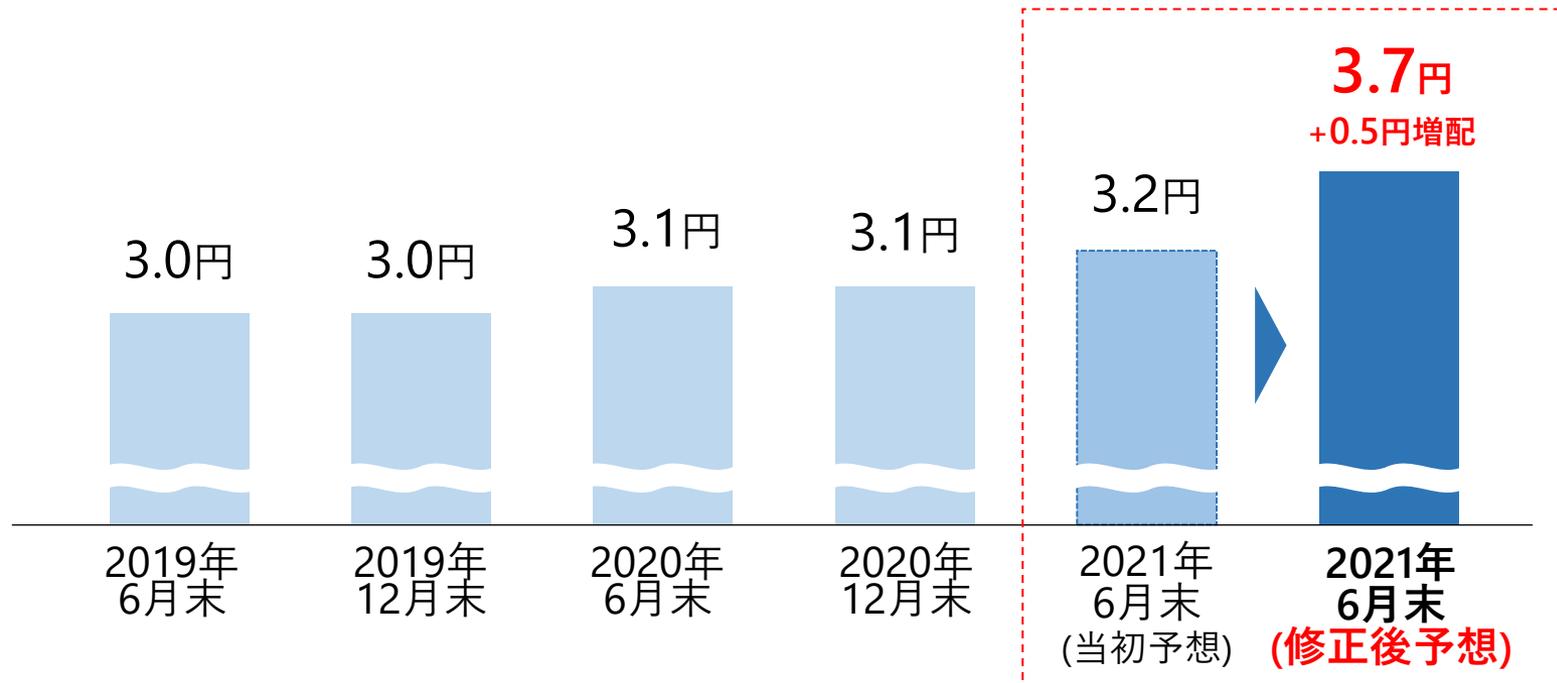
株主還元・配当金額

配当方針

配当による株主への利益還元を安定的に継続しながら、
「連結配当性向15%前後を目安に配当金額を決定」

2021年6月期の期末配当予想を**増配**
直近の好調な業績を踏まえ1株当たり配当金3.2円から**3.7円**へ

2019年以降の半期ごとの配当金額推移（1株当たり）



株価の状況

6月末の増配も発表し、現在株価は650円前後に上昇
今後の成長も踏まえ、クロス・マーケティンググループにご注目ください。

証券コード

3675

株価

658円

時価総額

131億円

購入単価
(100株単位)

65,800円

※5/19終値時点の情報



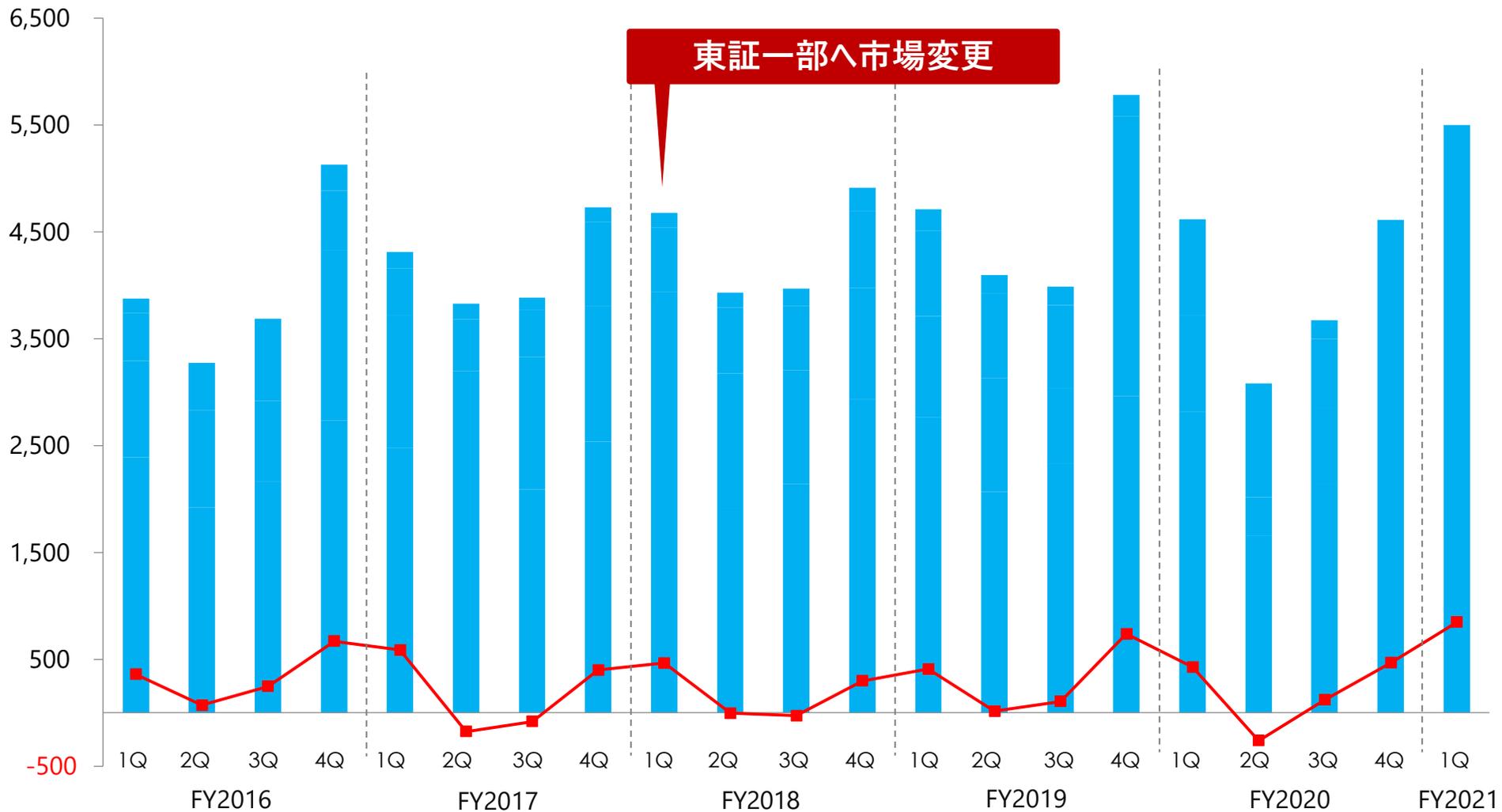


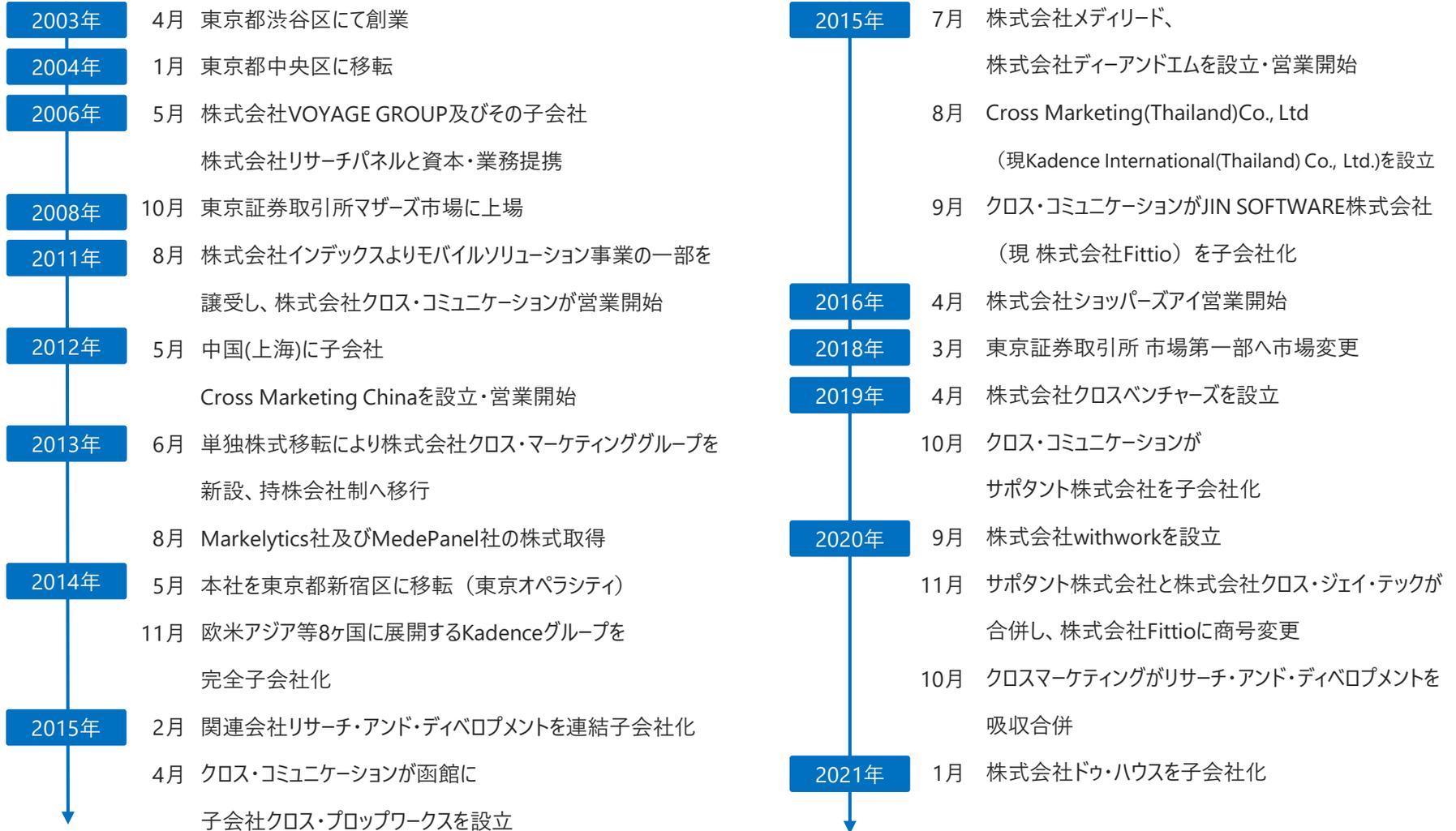
參考資料

連結業績及び主な指標の推移 (2016~2020)

	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期
売上高 (百万円)	15,969	16,758	17,492	18,580	15,985
営業利益 (百万円)	1,342	727	955	1,267	986
経常利益 (百万円)	1,267	597	840	1,150	1,078
当期純利益 (百万円)	837	△703	507	△477	467
純資産 (百万円)	4,474	3,598	3,900	3,420	3,594
総資産 (百万円)	9,932	9,564	10,429	9,927	11,416
1株当たり配当金(円)	5.5	5.5	5.5	6.0	6.2
EPS(円)	42.85	△36.00	25.92	△24.12	23.67
BPS(円)	221.49	177.75	193.79	166.19	179.58
ROE(%)	20.7	—	14.0	—	13.6
ROA(%)	12.7	6.1	8.4	11.3	10.1

(百万円) 【売上高(棒グラフ)】【営業利益(折れ線グラフ)】





本資料に関するご注意

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

本資料に掲載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、変更されることがあることをご了承下さい。

～本資料に関するお問合せ先～

株式会社 クロス・マーケティンググループ グループ経営戦略部

Mail : ir-cm@cross-m.co.jp